

- 問1 日本の諸地域のうち関東地方の地理的特徴について述べた文として、県庁所在地の名称を含めて正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 関東地方の中で北側に位置し、東北地方の各県と接している茨城県の県庁所在地は水戸市、栃木県の県庁所在地はさいたま市である。 | 2. 関東地方の北東部に位置し、東北地方と接している茨城県の県庁所在地は水戸市、栃木県の県庁所在地は宇都宮市である。 | 3. 東北地方との境界線上に位置する茨城県の県庁所在地はさいたま市、栃木県の県庁所在地は宇都宮市である。 | 4. 関東地方の北部に位置し、福島県と境界を接する栃木県の県庁所在地は前橋市、茨城県の県庁所在地は水戸市である。 |
|---|--|--|--|
- 問2 関東地方の各都県における大学数の分布を、1つの正方形の記号を10校として地図上に配置する統計地図で表現するとします。群馬県の大学数が14校、茨城県の大学数が10校であるとき、この地図上で用いられる正方形の数や表現の説明として適切なものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 群馬県は正方形4個分、茨城県は正方形0個分として表現される。 | 2. 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形0.1個分として表現される。 | 3. 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。 | 4. 群馬県は正方形14個分、茨城県は正方形10個分として表現される。 |
|-----------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問3 首都圏に位置するある県は、製造品出荷額が約12兆円と高く、農業産出額も1300億円を超える規模ですが、昼夜間人口比率が88.3%と100%を大きく下回っています。この数値が100%を大きく下回る理由として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 県外へ通勤・通学する人が、他県から通勤・通学してくる人よりも多いため | 2. 県内の製造業や農業に従事する労働者が、定年退職により急減したため | 3. 他県から通勤・通学してくる人が、県外へ通勤・通学する人よりも多いため | 4. 大規模な工業地域が県内にあり、夜間勤務の労働者が他県から流入するため |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問4 茨城県の産業構造について、野菜の産出額が米や果実を大きく上回り、かつ製造品出荷額等が非常に高い数値を示している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 広大な冷涼な土地を利用した大規模な稲作と、伝統的な工芸品の生産に特化しているため | 2. 温暖な気候を利用して果実の輸出を促進し、内陸部にハイテク産業を集積させているため | 3. 大消費地に近い利点を生かした農業と、臨海部などの大規模な工業開発が組み合わさっているため | 4. リアス海岸での養殖業を基盤とし、重化学工業を縮小して観光業へ転換したため |
|---|---|---|---|
- 問5 千葉県や神奈川県といった南関東の沿岸部において、冬でも比較的温暖な気候となる自然要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|--|
| 1. 寒流である親潮（千島海流）が冷たい空気を運ぶことで、冬の乾燥を防いでいるため | 2. 暖流である黒潮（日本海流）が太平洋沿岸を流れており、周囲の気温を下げにくい | 3. 日本海を北上する対馬海流が、関東平野に暖かい湿った空気を送り込むため | 4. 内陸から吹き下ろす乾いた季節風が、山地で暖められて沿岸部に到達するため |
|---|--|---------------------------------------|--|
- 問6 東京都中央卸売市場における2021年の統計において、群馬県からの入荷量が全体の51.8%という圧倒的なシェアを占めている農作物があります。この農作物は、群馬県の標高が高い地域で夏の涼しい気候を利用して栽培されていますが、このような農業の形態を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 促成栽培 | 2. 近郊農業 | 3. 施設園芸農業 | 4. 高冷地農業 |
|---------|---------|-----------|----------|
- 問7 江戸時代の古地図と現代の地形図を重ね合わせて分析すると、都市の歴史的な変遷をたどることができます。江戸城周辺の土地利用について述べた次の文のうち、歴史的背景を踏まえた正しい説明はどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 江戸城西の丸の東側は、古地図では広葉樹林の広がる庭園であったが、明治時代以降にすべて茶畑へと転換された。 | 2. 江戸城西の丸の東側は、古地図では針葉樹林が広がる防衛拠点であり、現在は大規模な商業施設が密集する地区となっている。 | 3. 江戸城西の丸の東側は、古地図では町人の居住区として細かく区割されていたが、現在は鉄道のターミナル駅として利用されている。 | 4. 江戸城西の丸の東側は、古地図では果樹園として利用されており、現在はその区画が特許庁などの官公庁の敷地に活用されている。 |
|---|--|---|--|
- 問8 関東平野などで盛んな近郊農業が、他の地域の農業と比較して有利な点について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. シラス台地のような火山灰地特有の土壌を活かし、大規模なかんがい施設を利用できる点。 | 2. 広大な土地と大型機械を活用することで、労働力をかけずに大量生産ができる点。 | 3. 輸送距離が短いため、輸送費を抑えつつ野菜の鮮度を保ったまま出荷できる点。 | 4. ビニールハウスなどを利用し、冬の温暖な気候を活かして他の地域より早く出荷できる点。 |
|--|--|---|--|
- 問9 関東地方の東京都や埼玉県、千葉県などに広がる台地の表面を厚く覆っている土壌について説明します。この土壌は、富士山や箱根山などの噴火によって飛来した火山灰が長い年月をかけて降り積もってできたもので、酸化鉄の影響で赤色を呈しています。このような土壌を何と呼びますか。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|--------|--------|
| 1. 関東ローム | 2. 泥炭 | 3. まさ土 | 4. シラス |
|----------|-------|--------|--------|
- 問10 神奈川県の産業構造において、第三次産業の就業者割合が約75%と非常に高い水準にあり、かつ年間100万人を超える外国人観光客が訪れる背景にはどのような理由がありますか。その理由として適切な説明を選びなさい。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 東京都内からの交通利便性が低いので、県内で独自の自給自足的な経済圏が形成され、それが珍しい景観として外国人に評価されたため。 | 2. 県内のほぼ全域が大規模な農業振興地域に指定されており、外国人観光客を対象とした体験型農業が産業の主軸に成長したため。 | 3. 県庁所在地の横浜市などが国際的な港湾都市として発展し、歴史的な街並みや商業施設が充実しているため、サービス業や観光業が盛んになった。 | 4. 京浜工業地帯に位置するすべての工場が、近年になって観光施設や高層マンションへと転換され、製造業に従事する者がいなくなったため。 |
|---|---|---|--|
- 問11 群馬県の製造業出荷額の構成比において、全出荷額の3分の1以上を占め、県内で最も主要な産業となっている製造業の種類を、次の中から選びなさい。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|---------|----------|
| 1. 輸送用機械器具 | 2. 電気機械器具 | 3. 化学工業 | 4. 食料品工業 |
|------------|-----------|---------|----------|
- 問12 茨城県のつくば市（筑波研究学園都市）では、夜間の常住人口（夜間人口）が約22.7万人であるのに対し、仕事や通学のために周辺地域から流入する人々を含めた人口（昼間人口）は約24.4万人に達します。このように昼間人口が夜間人口を上回る要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 歴史的な街並みを保存した観光地が多く、全国から日帰りの観光客が昼間に集中するため | 2. 大規模な工業団地が整備され、製造業に従事する外国人労働者の移住が進んだため | 3. 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため | 4. 都心部へのアクセスが良いため、夜間に都心から帰宅する会社員のベッドタウンとなっているため |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 関東地方の北東部に位置し、東北地方と接している茨城県の県庁所在地は水戸市、栃木県の県庁所在地は宇都宮市である。	関東地方と東北地方の境界付近の状況を確認すると、茨城県と栃木県はともに福島県と隣接しており、関東から東北へ向かう交通の要所となっています。茨城県の県庁所在地は水戸市、栃木県の県庁所在地は宇都宮市です。前橋市は群馬県の県庁所在地であり、さいたま市は埼玉県 の県庁所在地であるため、これらを混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 3 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。	統計地図において、一定の数値を1つの図形（単位図形）で置き換えて表す手法では、実際の数値を単位となる数値で割ることで、配置する記号の数を算出します。この場合、10校を1個の正方形とするため、14校ある群馬県は $14 \div 10 = 1.4$ 個、10校ある茨城県は $10 \div 10 = 1$ 個の正方形を用いることで、地域ごとの大学数の多寡を視覚的に比較しやすくしています。
問3	答え 1 県外へ通勤・通学する人が、他県から通勤・通学してくる人よりも多いため	昼夜間人口比率は「（昼間人口÷夜間人口）×100」で算出されます。千葉県のように製造品出荷額や農業産出額が高い県であっても、東京都などの大都市に隣接している場合、夜間は県内に住み、昼間は都心へ通勤・通学する人が多くなります。流出人口が流入人口を大きく上回ること、昼夜間人口比率は100%を下回ることになります。
問4	答え 3 大消費地に近い利点を生かした農業と、臨海部などの大規模な工業開発が組み合わさっているため	茨城県は首都圏の食料供給を支える農業県としての側面と、鹿島臨海工業地帯などを中心とした工業県としての側面を併せ持っています。特に野菜の産出額が多いのは近郊農業の恩恵であり、製造品出荷額が高いのは、鉄鋼や石油化学、機械工業などの大規模な工場が集まっていることによるものです。
問5	答え 2 暖流である黒潮（日本海流）が太平洋沿岸を流れており、周囲の気温を下げにくいため	南関東の太平洋沿岸には、赤道付近からの熱を運ぶ暖流の黒潮（日本海流）が流れています。暖流は周囲の空気を温める効果があるため、沿岸部では冬の冷え込みが緩和され、比較的温暖な気候が保たれます。これにより、房総半島などでは冬から春にかけての花の栽培なども盛んに行われています。
問6	答え 4 高冷地農業	群馬県の嬬恋村などは、夏でも涼しい高原の気候を活かしてキャベツを栽培する高冷地農業が非常に盛んです。この地域で生産された「高原キャベツ」は、他の産地の出荷が減る夏から秋にかけて東京などの大消費地へ大量に出荷されるため、中央卸売市場において非常に高いシエアを誇っています。一方、宮崎県や高知県で行われる、暖かい気候を利用して出荷時期を早める方法は促成栽培と呼ばれます。
問7	答え 4 江戸城西の丸の東側は、古地図では果樹園として利用されており、現在はその区画が特許庁などの官公庁の敷地に活用されている。	古地図に記された「果樹園」などの土地利用の記録は、その後の都市開発において一括した広い用地として転用しやすかったという側面があります。江戸城西の丸の東側の事例では、かつての果樹園や周辺の武家屋敷の跡地が、現代における特許庁や外務省といった国の重要な機関の敷地へと引き継がれており、過去の土地利用が現代の都市構造に直接的な影響を与えていることがわかります。
問8	答え 3 輸送距離が短いため、輸送費を抑えつつ野菜の鮮度を保ったまま出荷できる点。	近郊農業の最大の利点は、市場である大都市までの距離が近いことです。これにより、トラック輸送のコストを低く抑えられるほか、鮮度が落ちやすい葉物野菜などを新鮮な状態で消費者に届けることが可能になります。冬の温暖な気候を利用するのは「促成栽培」の特徴であり、広大な土地の利用はアメリカなどの「大規模農業」、シラス台地の利用は九州地方（南九州）の農業の特色です。
問9	答え 1 関東ローム	関東地方の台地で見られる赤色の土層は「関東ローム」と呼ばれます。これは数十万年前から続く火山活動（主に富士山や箱根山）によって噴出された火山灰が、偏西風に乗って運ばれ、地表に堆積して形成されたものです。九州南部の火山灰台地を作る「シラス」や、中国地方などで見られる花こう岩が風化した「まさ土」と区別して覚える必要があります。
問10	答え 3 県庁所在地の横浜市などが国際的な港湾都市として発展し、歴史的な街並みや商業施設が充実しているため、サービス業や観光業が盛んになった。	神奈川県は東京に隣接し、日本最大級の人口を抱える都市圏の一部を形成しているため、消費活動を支える第三次産業が必然的に大きくなります。特に横浜は開港以来の歴史的背景を持ち、異国情緒ある景観や中華街、みなとみらい地区などの観光資源が豊富なため、ビジネス客だけでなく多くの外国人観光客を惹きつける産業構造が構築されています。第一次産業の割合が極めて低いのは、土地利用が高度に都市化・工業化されていることの裏返しです。
問11	答え 1 輸送用機械器具	群馬県は太田市を中心に自動車産業が非常に盛んであり、製造業出荷額において輸送用機械器具が最大の割合を占めています。一方、選択肢にある化学工業は、京葉工業地域（千葉県など）のような臨海部の工業地帯で高い割合を示す傾向があります。
問12	答え 3 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため	筑波研究学園都市は、東京の過密解消と科学技術の振興を目的に、国の研究機関や大学を計画的に移転して作られた都市です。そのため、高度な専門知識を扱う職場や教育施設が集中しており、周辺の自治体から多くの研究者、職員、学生が通勤・通学してくることで、昼間の活動人口が夜間の居住人口を上回る特徴を持っています。